

第240回

岩手朝日テレビ放送番組審議会

(令和2年7月)

株式会社 岩手朝日テレビ

第 240 回岩手朝日テレビ
放送番組審議会（書面による審議）

新型コロナウイルス感染防止の観点から 7 月 29 日に予定していた第 240 回の放送番組審議会についてはレポートの提出により審議を行います。

1. 開催年月日 2020 年 7 月 29 日（水）（当初の日程）
委員全員から課題番組に対するレポートを提出いただき、8 月 25 日までにレポートに関する質問や意見に対して社内で討議。8 月 31 日付けで資料を送付。委員からの意見を集約し議事録を作成。

2. 委員の出欠（レポートの提出）

委員総数 8 名

出席委員数 8 名

委員 長	村 田 久
委 員	小 松 豊
委 員	石 川 健 正
委 員	そのだ つくし
委 員	高 橋 惣兵衛
委 員	和 田 俊 文
委 員	樋 口 知 志
委 員	佐 竹 雅 之

会社側出席者名

代表取締役社長	畠 山 大
取締役報道制作局長	小 原 洋
事務局長	三 浦 茂 樹
事務局	波 岡 功

3. 議 題

(1) 社長あいさつ

(2) 8月単発・7月視聴率・6月視聴者応答記録について

(3) 合評について

合評課題：「新型コロナウイルス報道とテレビの役割」

※テレビ朝日系列番組審議会委員代表者会議の議題

(4) 次回開催について

日 時：令和2年9月30日（水）会議室 11:00～

合評課題：藤岡隊長が行く！道の奥グルメ調査隊

『こんな所にナゼ秘境メシ』”

4. 概 要

今回の合評課題は、第89回テレビ朝日系列放送番組審議会委員代表者会議の議題について議論した。

新型コロナウイルスの感染拡大は、我々の社会にかつて経験したことのない深刻な影響をもたらした。

多くの複合的な問題が山積する中、未知の暮らしが待ち受けているこの時代に、テレビは何を伝えていけばいいのか、国民のためにどのような役割を果たすべきなのか議論した。

- ・もっと地方の住民が、安心出来る情報をきめこまやかに掲示することがローカル局の役割ではないのか。
- ・いわば「有事」においては、テレビをはじめとする報道機関に期待される役割は、報道を通じて視聴者に適切な危機意識を持ってもらい感染を回避する行動を促すことである。
- ・少しでもポジティブな情報があれば、もっと番組の切り口として他局との差別化ができるのではないのか。
- ・報道は事実を伝えることが最も大切であるが、報道以外の番組では、国民を落ち着かせ、勇気を与える内容も今まで以上に大切である。
- ・メディアに求めているのは、正確な情報を、正しく分析・検証することであり、「真に役立つ情報」視聴者に届ける事。